



公益社団法人 岡山県診療放射線技師会

岡放技ニュース

Okayama Association of Radiological Technologists Since November 21th,1951 URL:<http://www.oart.jp>

発行責任者 高尾 渉 編集者 編集委員会

2024.2 No.322

〒700-0867 岡山市北区岡町 16-10-201
TEL 086-235-1313 FAX 086-235-1515
MAIL: oart@oart.jp

公 示

令和6年1月20日



公益社団法人岡山県診療放射線技師会

令和6年度選挙管理委員会

委員長 赤木 憲明

委員 石川 哲也

竹内 唯喜

田原 義成

谷口 顕士

公益社団法人岡山県診療放射線技師会諸規程役員選出規程第12条に基づき、令和6・7年度選挙管理委員候補者を下記のとおり公示いたします。

公益社団法人岡山県診療放射線技師会 令和6・7年度選挙管理委員候補者

候補者氏名	会員番号	所属
石川 哲也(イシカワ テツヤ)	38222	川崎医科大学附属病院 (新任)
竹内 唯喜 (タケウチ ユウキ)	53276	津山中央病院 (再任)
田原 義成 (タハラ ヨシナリ)	39838	岡山市立市民病院 (再任)
谷口 顕士 (タニグチ ケンジ)	49491	おさふねクリニック (再任)
赤木 憲明 (アカギ ノリアキ)	35716	岡山大学病院 (再任)

公益社団法人岡山県診療放射線技師会諸規程

役員選出規程(一部抜粋)

第3章 選挙管理委員会

(選出方法)

第12条 次期選挙管理委員の選出は、前選挙管理委員が選任をする。ただし、再任は妨げない。

2 選挙管理委員は、総会において承認される。

3 選挙管理委員は、総会承認後本会会長より委任状をもって任命される。

(構成)

第13条 選挙管理委員会は、5名の委員で構成し、委員長は互選とする。

2 役員および候補者は、選挙管理委員になれない。

(任期)

第15条 選挙管理委員の任期は2年とする。

前記の規定により、次期総会(令和6年6月16日、日曜日 於:岡山旭東病院パッチアダムスホール)において公益社団法人岡山県診療放射線技師会令和6・7年度選挙管理委員の承認をお願いします。



事務所開所時間：月・火・木・金 10:00～14:00 水 10:00～12:00

お知らせ

OT³コラボセミナー 開催のお知らせ

組織委員長 角場 幸記

日付：令和6年6月1日(土)
(令和6年2月24日(土)は諸般の事情により延期になりました。)
時間、場所は未定

テーマ：各職種の相互理解(各職種の代表が発表、他の職種間での相互理解)

詳細が分かり次第、お知らせします。皆様のご参加をお願いします。

報告

第150回岡放技セミナー開催報告

学術副委員長 西山徳深(岡山済生会総合病院)

2023年12月3日、岡山済生会総合病院にて、第150回岡放技セミナーが開催されましたので報告します。150回の今回も現地参加とwebinarとのハイブリッド開催となりました。

最初の教育講演は、岡山県生活習慣病検診等管理指導協議会による第2回肺がん部会研修会(肺がん精密検診機関研修会)の講演でした。演題名は、『肺がん検診におけるCT検査の役割～低線量CTに求められる知識と最新技術～』で、演者は滋賀医科大学附属病院の牛尾哲敏先生でした。牛尾先生は、肺がんCT検診認定機構の理事で、前日は第28回肺がんCT検診認定技師の試験が滋賀医科大学附属病院で行われており、大変忙しい中講演に来ていただきました。講演の内容は、肺がんの現状と胸部X線画像の読影と限界、精度の高い胸部CT検査とは、低線量肺がんCT検診と最新技術、肺がん検診の展望について話していただきました。

肺がんのがん死亡数は2021年において1位となっており、早期がん状態で肺がんを発見する事の重要性を認識する事ができました。また、肺がんの検出感度は、X線画像では60～80%、CTでは93～94%と言われており、胸部X線画像には読影限界があり精度の高いCT検査を行う重要性が理解できました。胸部CT検査を行うために必要な知識をすべて得る事が出来る大変有意義な講演でした。

次の教育講演は、演題名『ECR Magna cum laudeへの軌跡』で、小樽市民病院の大浦大輔先生に講演していただきました。大浦先生は、2023年のECR(European Congress of Radiology)において、最優秀賞であるMagna cum laude受賞されました。Magna cum laudeとはラテン語で、「最高の賞」を意味し、全放射線技師の中で最高の評価となります。受賞された発表の演題名は「Clinical usefulness and technical aspects of a 7-min MRI protocol for the fastest acute ischemic stroke treatment(超急性期脳梗塞に対する最速MRIプロトコルの臨床的有用性と技術的側面について)」で、MRIプロトコルの有用性と臨床成績についてまとめた内容となっています。講演では、超急性期脳梗塞に対する最速MRIプロトコル作成の経緯を詳しく説明していただきました。臨床に役立つ大変有効なプロトコルで、ぜひ活用したい撮像法でした。

最後は、桃子会企画講演で演題名は、『どうする生殖腺防護』で、川崎医療福祉大学医療技術学部診

療放射線技術学科准教授の竹井泰孝先生でした。内容は、放射線による人体影響における組織反応と確率的影響についてと、生殖腺防護を行ってきた歴史と経緯、ICRP の勧告の変遷について詳しく教えていただきました。また、生殖腺防護実施の見直しに関する国内外の動向と、竹井先生が班長となってまとめられた、小児股関節撮影における生殖腺防護に関する検討班報告書についてお話していただきました。わが国においても日常的に実施されている生殖腺防護を中止すべきであるが、そのためには生殖腺防護の中止にかかわる情報提供や医療放射線被ばくに関するリスクコミュニケーションを実施するための体制づくりが必要になると講演いただきました。まとめとして、生殖腺被ばくによる、ヒトの遺伝性疾患の発生頻度の増加に関する明確な証拠は存在しない。生殖腺防護シールドの生殖腺被ばく線量低効果は、無視できるくらい小さい。生殖腺防護シールドの使用は患者にとって全く無利益か、無視できるほど小さな利益しかもたらさない。生殖腺防護シールドが病変を隠したり、再撮影の原因になるなどのデメリットをもたらす可能性が大きい。以上のお話から検査での防護について各施設でしっかりと検討することが大切であると思いました。

150 回のセミナーでは、現地参加者には講演内容の要約を配布しました。担当役員だけでなく、一般会員の方にも現地で参加していただく良い機会になりました。今後は、ハイブリッド開催と完全 Web 開催も検討しています。会員の皆さまの知識向上に繋がる研究会となれる様に研鑽していきたいと考えています。次回も多くの方に参加していただければと思います。



滋賀医科大学附属病院
牛尾 哲敏 先生



小樽市民病院
大浦 大輔 先生



川崎医療福祉大学
竹井 泰孝 先生



会場の様子

報告

CS9 より CSFRT2023 山口 JART 特別企画開催報告

CS9 実行委員 本田 さだえ・沼田 美保

「災害時の役割と対応—医療現場で求められる能力と対応—」

講師：中田 正明 先生(兵庫県災害医療センター)

日時：2023年11月18日(土)11:00～11:50

会場：KDDI 維新ホール 第3会場

※オンデマンド配信期間 2023/12/1(金)～12/31(日)

近年、災害が増え予測がつかない事態に備える必要があります。今回の企画では、診療放射線技師として災害時の役割・実際に何ができるのかを学ぶため DMAT として被災地で支援活動を行った経験をお持ちで、実際に阪神淡路大震災の被災者でもある中田先生に経験や知識を生かした講演をしていただきました。

会場には多くの方々が参加していただき、盛況な講演会になりました。自施設でも防災に対するマニュアルはありますが、自家発電での放射線機器の電力量まで気にしたことはありませんでした。自家発電の燃料供給に関しても、会社によって供給口の規格が違っており、燃料供給車は来ているのに燃料が供給できないことがあるとは驚きました。どちらもほとんどの技師が知らないことだと思いました。

今回は技師目線で何ができるかという内容であったため、より身近に感じ考える事ができました。お忙しい中、アンケートのご協力ありがとうございました。またお時間があるときにアンケート報告もご確認ください。

※最後になりましたが、JART 業務改善推進委員会は今年度をもって事業が終了となります。

CS9 として9年間皆様方のご理解とご協力のもと、大変有意義な経験と時間が持てたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



会場の様子



講師の中田 正明先生

報告

桃子会企画講演会 報告

桃子会 沼田 美保 本田 さだえ

日時： 12/3(日)11:40 から 12:35 第150回岡放技セミナー内

講師： 竹井泰孝先生

(川崎医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線技術学科 准教授)

演題名： どうする生殖腺防護

今回生殖腺防護に関する検討班報告書策定メンバーとしてご活躍の、川崎医療福祉大学の竹井泰孝先生に「どうする生殖腺防護」をテーマに小児の股関節防護を中心に、ご講演頂きました。

講演内容は放射線による人体被ばくの影響から今までのICRPの勧告、生殖腺防護の見直しの国内外の動向、今後生殖腺防護シールドの使用が無利益かつ、撮影時のデメリットの方が大きいとの見解を詳しくご説明いただきました。

ご講演の中にもありましたが小児の股関節X線撮影時、動いてプロテクターがずれたり、プロテクターの置き方で病変が隠れたりして、再撮影をしてしまったという苦い経験も思い出されました。今後の動向をしっかりと見据えて、小児の生殖腺被ばくの実態をしっかりと勉強して行きたいと思えます。また被ばく低減の取り組みとともにリーフレット等を作成し、患者さんにもしっかりとお伝えしていけたらと思えます。

講演の中で紹介していただいた生殖腺防護シールドに関するFAQ集がJSRTのWebサイトで公開されましたので、お時間があるときにご覧いただけたらと思えます。また職場の皆様にも、ぜひ情報を共有していただければと思えます。

<https://www.jsrt.or.jp/data/bougo/>

※最後になりましたが今年度を持ちましてCS9の活動が終了となります。それにともない、「桃子会」としての活動を終了させていただきます、今まで「桃子会」へのご理解・ご支援に深く感謝致します。また新たな企画に取り組んで行きたいと思えますので今後ともよろしくお願い致します。

お知らせ

「変更届」提出のお願い

勤務先・自宅住所など変更をされた方は、岡放技事務局まで「変更届」に変更内容を記入してお送りください。

「変更届」用紙はホームページのメニュー「入会・変更など」にあります。

日本診療放射線技師会 JART にもご入会の方は、JART のホームページよりログイン後、ご自身で登録情報の変更ができます。【推奨】

(ログインできない方は、岡放技への申請により JART の変更支援を致します。)

岡放技独自の会員台帳にて会費管理やニュースの発送など様々な処理をしておりますので、是非とも、お忘れなくお知らせください。よろしくお願い致します。

【送り先】 〒700-0867 岡山市北区岡町 16-10-201
岡山県診療放射線技師会 事務局
FAX : 086-235-1515
Mail : oart@oart.jp

《追伸》 過去に引越しをされて、住所変更を出されていない方もおられるようです。確認の為に送って頂くのも歓迎です。よろしくお願い致します。

お知らせ

岡山県診療放射線技師会 公式 LINE アカウントのお知らせ

広報委員会では会員の方のご要望にお応えし、LINE 公式アカウントを開設いたしました。下記 QR コードより「友だち追加」をしていただくことでホームページの更新情報をよりスムーズにご覧になれます。

多数のご登録をよろしくお願いいたします。



LINE 公式アカウント

友だち募集中

@909pjmdq
LINEの「友だち追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンしてください

広報委員会より
お知らせ

岡放技
LINE公式アカウント
を作成しました。

ホームページの情報を
よりスムーズに
ご覧いただけます。

ぜひ「友だち追加」
してください！

お知らせ

サーベイメータ貸出について

施設線量測定委員長 土本 真也

岡山県診療放射線技師会では、漏洩線量の測定のため、会員施設を中心にサーベイメータの貸出を行っています。

貸出を希望される方は申込書をファックスかEメールで岡山県診療放射線技師会までご連絡下さい。

貸出申込書は岡山県診療放射線技師会のホームページにあります。

サーベイメータの引き渡しは本会事務室にて行ないます。

貸出使用料の請求は本会が使用者あてに後日行います。

サーベイメータ貸出規程

- 1 ALOKA 社製 電離箱式サーベイメータ 1台 (トランシーバー2台を含む)
(サーベイメータは年1回の校正を行っています)
- 2 貸出料金 1週間 **33,000 円**(税抜) 1回の貸出は1週間を限度とする
- 3 会員以外への利用は規程の倍額とする
- 4 本会の活動に有益と思われる場合は代表理事の承認を得て利用料を免除することができる
- 5 使用に関して、故障・水漏れ・落下により修理が必要となった場合、修理費の一部として10,000円を支払い頂く

※その他、ご不明な点やご質問、ご要望などございましたら、お気軽にお問合せ下さい。





エックス線室の漏洩線量測定事業

施設線量測定委員長 土本 真也

岡山県診療放射線技師会では、線量測定委員が各施設にお伺いしてエックス線室漏洩線量測定する事業を行っています。漏洩線量測定をご希望の方は、岡山県診療放射線技師会までご連絡お願いいたします。測定日時について調整させていただきます。

測定の流れ

1. 測定図面の作成

初回測定時に今までの線量測定結果とX線撮影室の平面図を担当者にお渡し下さい。
(2回目以降は必要ありません) 戴いた図面を元に漏洩線量測定図面を作成します。

2. 漏洩線量の測定

測定員2名以上を派遣し、漏洩線量測定を実施します
(X線装置の操作は病院様側でお願いします。
これをもって病院様の立会者とさせていただきます)
サーベイメータ、ファントム、トランシーバー等、必要な備品は当方で準備いたします。

3. 測定結果報告書の作成

後日、漏洩線量測定結果報告書をお届けします。法定規制値以下と認められた施設には撮影室入り口ドアに貼る、測定済証のステッカーもお送りします。

測定時間

1室約30分

測定料金

基本料金 **22,000 円** + 1 装置・1 管球追加毎に **11,000 円** を加算させていただきます。

測定をご希望の施設がありましたら、岡山県診療放射線技師会まで、お気軽にご相談下さい。

お申し込み先

〒700-0867 岡山県岡山市北区岡町 16-10-201

(公社) 岡山県診療放射線技師会 施設線量測定委員会 宛

Tel 086-235-1313

令和5年度 (公社)岡山県診療放射線技師会 行事(活動)予定

令和6年				
2月				
3月	3月30日	土	乳がんから女性を守ろう	未定 詳細未定
4月				
5月				
6月	6月1日	土	OT ³ コラボセミナー (予定)	詳細未定 詳細未定
7月				
8月				
9月				
10月	10月19~20日	土、日	第20回中四国放射線医療技術フォーラム	HP参照 岡山コンベンションセンター(岡山市)
	10月31日~11月3日	木~日	第1回日本放射線医療技術学術大会 (第40回日本診療放射線技師学術大会)	HP参照 沖縄コンベンションセンター(宜野湾市)
11月				
12月				
令和7年				
1月				

※ 日本診療放射線技師会 (JART) 主催



事務所開所時間：月・火・木・金 10:00~14:00 水 10:00~12:00